



学校便り

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817

令和4年4月28日

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

大人の階段を上る子どもたちを見守って

校長 梅田 研一

新年度が始まり、早1か月が経ちました。子どもたちは元気に学校生活を送っています。1年生からは、ほぼ毎日誰かから「園長先生！」と呼ばれます。「あっ、まちがえちゃった・・・」「いいよいいよ」こんなやりとりが楽しいです（一方で「副校長先生」という言葉に微妙に反応してしまう自分もおりますが）。

またこの4月中には、新型コロナウイルス感染症の影響で、急遽予定していた授業参観・懇談会を中止に、家庭訪問を地域訪問に変更させていただきました。しかしながら保護者の皆様には御理解・御協力をいただき、大きな混乱はありませんでした。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、新年度が始まったのと時を同じくして、社会では成人年齢の18歳への引き下げという大きな変化がありました。詳細は省略させていただきますが、限定的とはいえ”大人”とみなされる年齢が2歳引き下がったこととなります。小学校卒業からは6年後、義務教育終了後わずか3年後には”大人”となること、改めて義務教育9年間でどのような子どもたちを育てていくかが大切になってくるのだと思います。

中学校では教科担任制に基づく学習指導や部活動等で、より主体性を重んじられることとなります。また卒業前には”進路選択”という試練が待ち構えています。それらを踏まえて小学校段階で考えたとき「目標に向かって努力することができる子」「コミュニケーションができる子」であることが大切になってくると思っています。横浜市立学校では、それぞれの学校教育目標に照らして今後3年間の取組を見直す中期学校経営方針を策定中ですが、今後育てていきたい子ども像としてこれらを掲げ、日々の指導にあたってまいります。

もし「あなたが自分自身を”大人”になったと実感できたのは何歳の時ですか？」と聞かれたら、いくつと答えるでしょうか。私は25歳位かと思っています。理由はここでは述べませんが、子どもは一朝一夕に”大人”になれるわけではありません。学校でできることはしっかり指導しつつ、自分のペースで大人の階段を上っていく子どもたちを、保護者の皆様と共に温かく見守っていきたいと思います。